

広島県まちづくり未来勉強会

「ランドバンク事業による空き家・空き地の有効活用」



ランドバンク事業とは

空き家や空き地などの未利用ストックについて、接道状況や土地形状の改善を図ることにより、土地に付加価値を与え、市場性のあるストックを生み出す事業です。広島県では、令和3年度より三原市本町地区、府中市府中・出口地区でモデル事業を実施しています。

参加費
無料

2024年

1月23日(火)

10:00~15:00

(受付開始：9:30~)

府中市生涯学習センター
研修室 1, 2

広島県府中市府中町27-1

TEL：0847-41-8977

交通：JR府中駅より徒歩3分

お車でお越しの方は、府中市生涯学習センター
または府中市役所駐車場をご利用ください。



【午前の部】

10:00~12:00

広島型ランドバンク事業の紹介

広島県都市計画課

所有者不明土地・低未利用土地対策のすすめ ~広島型ランドバンク事業と補助金について~

中国地方整備局用地部用地企画課

講演会

「つるおかランド・バンク 活動10年目の今」

NPO法人つるおかランド・バンク理事長 廣瀬大治氏

【午後の部】

13:00~15:00

府中・出口地区現地視察・まちあるき

府中市都市デザイン課

意見交換会

講師のご紹介



廣瀬 大治

NPO法人つるおかランド・バンク理事長
鈴木不動産株式会社代表取締役社長

2010年より、鶴岡市ランド・バンク研究会（山形県鶴岡市）に会員として参加し、ランド・バンク事業の立ち上げに関わる。2013年のNPO法人つるおかランド・バンク設立時に副理事長、2018年に同法人の理事長に就任。
ランドバンク事業の第一人者として、全国で空き家や空き地対策に取り組む団体の相談や講演に飛び回っている。

つるおかランド・バンク



山形県鶴岡市の中心市街地は、江戸時代の昔ながらの町割りが色濃く残っており、旗竿地や囲繞地、狭あい道路などが散見し、住宅の再建築ができないなど、不動産として流通するには困難な物件が多数存在し、それが、空き家発生の一因となり、まちなかの空洞化、人口減少が進んでいます。

このような状況を解決するため、つるおかランド・バンクは、市街地を中心に増加傾向にある空き家・空き地の有効活用に民間の手法を活用して取り組むことを目的に、土地や家屋に関する専門家が構成員となって2013年1月に設立され、令和5年1月には、全国初の所有者不明土地法に基づく推進法人に指定されました。

空き家・空き地の活用に関する各種相談受け付け、市街密集地の空き家・空き地と狭あい道路を一体的に整備するランド・バンク事業（小規模連鎖型区画再編事業）などを展開しています。

老朽危険家屋解体の事例



狭あい道路の拡幅事例



お問い合わせ